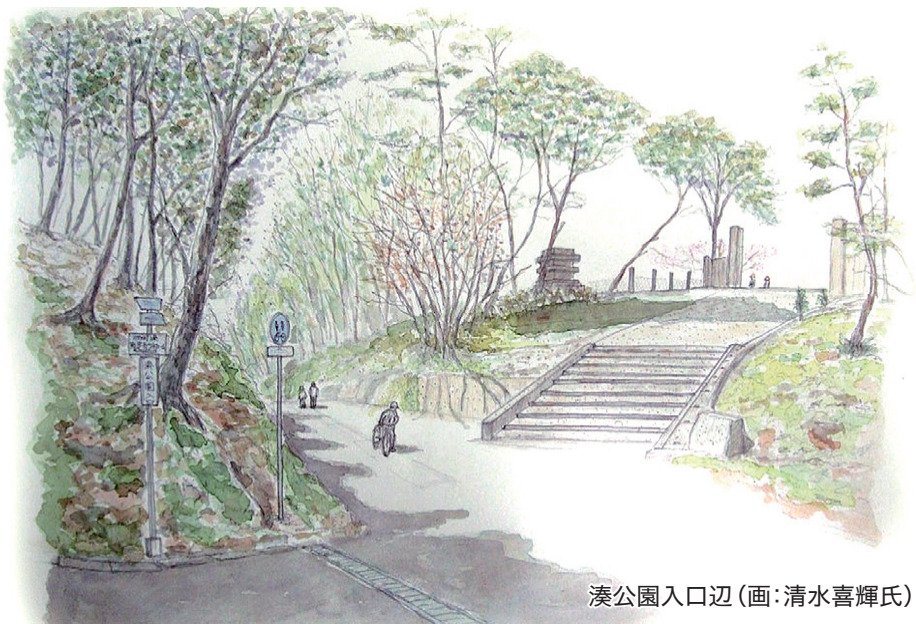




湊公園入口辺 (画: 清水喜輝氏)



ロータリー: 変化をもたらす

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

WEEKLY REPORT

No.2923 2018 年 5 月 7 日

事務所 ひたちなか市海門町二丁目 8-13 ひたちなか商工会議所那珂湊支所内
TEL.029(263)7811 例会日 毎週月曜日 12:30
FAX.029(263)6859 例会場 常陽銀行湊支店二階会議室
URL : <http://www.nakaminato-rc.com/>

★ 点 鐘

磯崎久喜雄会長

国 歌 斉 唱

ロータリーソング「奉仕の理想」

司会 黒澤 利勝幹事

★ 会 長 挨 拶

磯崎久喜雄会長



ひたちなか海浜公園のネモフィラが大変話題になっております。東京方面から来る人は友部 ICあたりからあまりにも混んでいるのでUターンして帰ってしまうとか、東北地方から来る人も日立、大甕あたりまでやっとの思いで来ても帰ってしまうというように、大変多くの人がいらっしゃっています。

ひたちなか海浜鉄道も3両編成が大体満員になって走っております。普段は1両でもガラガラですけれどもシャトルバスが海浜公園から最終便が4時52分発、阿字ヶ浦駅まで来ることになっています。

その効果が湊のお魚市場へ現れまして、ゴールデンウィークだけ忙しいのかなと思ったところがとんでもない、2週間以上ずっと混んでいるそうです。5日にちょっと様子を見に行きましたら、やはりとんでもなく混んでました。昔のように魚類を箱で買う人は少なくなったようですが、昼食時のレストランは長蛇の列、ある店は100人ぐらい並んでいたりと、少なくとも3～40人ぐらいは並んでいる状況です。一部だけ繁栄している「いびつ」な状況を見て参りました。何とか市内を回遊する方策をとれないかと、知恵を絞ってはいるのですが、なかなかそうはいきません。ロータリークラブが何らか貢献できれば、これも立派な「奉仕」になるのかな、と思いました。そういった街作りの観点を考えさせられました。

話題のネモフィラを考えてみますと、第1次世界大戦が終わって戦いの中心は空になるという時代になりました。第2次世界大戦はプロペラ機で戦ってきました。それからジェット機に

移る寸前に訓練場を作ろうとしたのが水戸射爆場でした。時代の趨勢はジェット機になりつつある時に作ったのですから規格に合わないんです。なのに無理矢理射爆場にしましたものですから20人、私が知っている人は7人ですが、20人も亡くなっています。誤射・誤爆といわれるものです。その他には家族崩壊といわれるようなことは何千件もありました。公式記録を見てもかなりの痛手を受けた家庭が600件近くもあります。私の経験でも小学校の時に騒音で授業が成り立たなかった記憶があります。ジョンソン基地、横田基地、そこから飛行機が来ると全く声が聞こえなくなって授業が成り立ちません。そんな時代を小学校・中学校で過ごしました。多大な犠牲の上に立って今のネモフィラの丘があるということをお忘れなくと申し上げたいです。非常に艱難辛苦をした人達の碑が今のクリスタルパレスの入口の所に建っていました。この前見に行ったら撤去されていました。どこに持って行ったのかはまだ分かりませんが、食べる物も着る物も無く天下の特高（注:特別高等警察）も見逃したという有名な話です。そんな悲惨な生活をあそこ（旧日本軍の東水戸飛行場）の買収で余儀なくされた開拓団が居る訳です。それらを取りまとめて本でも書きたいなという気持ちでいます。

那珂湊線も延伸の計画もだんだん具体化して、どういう風に進展していくかは分かりません。とりあえず今日は連休明けでちょっとぼーっとしている、そこで気を引き締めて例会を進めて参りたいと思います。

★出席報告

榎木 直行委員長
会 員 数 28名
出 席 者 11名
欠 席 者 15名
出席免除者 2名
マークアップ 7名
出 席 率 69.2%

★委員会報告

ニコニコボックス委員会

榎木 直行委員長
磯崎久喜雄……月例ニコニコです。
黒澤 利勝……月例ニコニコです。
常磐 昌敬……月例ニコニコです。
菊池眞一郎……地区協議会に参加しました。
本日までの合計 353,000円



結婚記念日祝い（5月）

安達良司会員 遊座文郎会員

藤咲久光会員 根本 隆会員

榎木直行会員

おめでとうございます。末永くお幸せに。

★地区協議会の報告

菊池眞一郎次期会長



地区協議会の報告ということで、平成30年5月7日に地区協議会に行って参りました。流れは午前中にガバナーとの挨拶がありまして、昼食を取った後に分科会、そのあと本会議ということでした。



インスピレーションになろう

最初に今年の国際ロータリーのテーマは「インスピレーションになろう」です。インスピレーションとは「ひらめき・思いつき」という意味だと思うのですが、会議の中で具体的ではないのでよく分からないという意見もありました。これに伴うRI会長のメッセージを一部読ませて

いただきます。このメッセージの中で重要なのは「一番大切なのは、前向きな変化を生み出し、私たちが今日直面する課題に勇気と希望、そして創造性をもって正面から立ち向かう意欲を、クラブ、地域社会、そして組織全体から引き出すための「インスピレーション」となる必要があるのです。ロータリーは、単なる「モデル」ではなく、インスピレーションです。ロータリーは、可能性を指し示し、そこに到達する意欲を引き出し、行動を通じて世界の「インスピレーションになる」ための道を拓いてくれるのです。」ということだそうです。

本会議の中で今年の2820地区の具体的な施策が6つ発表されました。細かい内容は時間がかりますので割愛させていただきます。1番目が「地区戦略」、2番目が「リーダーの育成」、3番目「クラブサポート」、4番目「公共イメージの向上」、5番目「奉仕プロジェクトの推進」、6番目「青少年への支援と学友連携の強化」ということです。

分科会ですが、各委員会に分かれまして別室で食事後に行いました。会長エレクトとしては地区資金及び基金協力金の概要の賛否、地区の年間予定表、このところで8月27日(月)にガバナー公式訪問となります。またロータリーの100周年となるということなので公式訪問時に地区の点鐘、記念の点鐘ということで記念の鐘を持ってきて点鐘するそうです。また公式訪問時にはガバナーがロータリーのマークの付いた車両(!?)でこちらにいらっしゃるそうです。

最後にロータリー賞にどこのクラブもチャレンジしましょうということですが、ロータリー賞というのがありましてチェックシートがありそんなに難しいことはないと思いますので次年度チャレンジしてみるのもいいのかと思います。

もう一つマイ・ロータリーのアカウントなのですが、28名中目標50%ですが、当クラブは10.7%なので一私もやろうと思いますが皆さんにやっていただきたいと思います。

事務連絡のようなかたちになりますが、ガバナー補佐エレクトが就任の挨拶に7月2日にいらっしゃる予定です。8月6日には公式訪問の打ち合わせに再度いらっしゃいます。

以上で報告を終わりたいと思います。

2018-2019年度:ロータリーの目標

優先項目1

「クラブのサポートと強化」に関する目標

1. 現会員を維持する
2. クラブの会員数を増やす
3. 新クラブを結成する
4. 女性会員、40歳未満の会員、ロータリーに入会するローターアクターの数を増やす

優先項目2

「人道的奉仕の重点化と増加」に関する目標

5. ポリオ撲滅活動への現金寄付と地区からのDDF寄贈を増やす
6. DDFを利用した地元や海外での地区補助金ならびにグローバル補助金を増やす
7. インターアクトとローターアクトが地元のロータリークラブや地域社会と一緒に、奉仕プロジェクト(環境関連のプロジェクトを含む)に参加するよう促す
8. 年次基金への寄付を増やし、2025年までに20億2500万ドルの恒久基金を達成する

優先項目3

「公共イメージと認知度の向上」に関する目標

9. ポリオ撲滅におけるロータリーとロータリアンの役割の周知を図る
10. ロータリーへの認識を高め、「世界を変える行動人」キャンペーンを推進する
11. ロータリーショーケースとアイデア応援サイトを利用し、クラブ史を記録することで、ロータリークラブのプロジェクトに対する認識を高める

[地区スローガン]

「ロータリーの心と力を地域社会へ」

[地区目標]

1. クラブのサポートと強化
 - (1) 会員増強 会員が29名以下のクラブは1名以上の純増、会員が30名以上のクラブは2名以上の純増女性会員、40歳未満の会員の積極的増強ロータリーに入会するローターアクターを増やす
 - (2) 新クラブを結成する
 - (3) ロータリー賞を受賞するクラブを増やす
 - (4) 戦略計画によるクラブの強化、活性化をサポートする
 - (5) My Rotary、rotary.org、クラブセントラルなどの有効活用
2. 人道的奉仕の重点化と増加

- (1) インターアクト、ローターアクトがロータリークラブや地域社会と一緒に奉仕プロジェクトに参加する
- (2) ポリオプラス、年次基金を増やす
- (3) 地区補助金、グローバル補助金を利用した地元や海外での効果的な活動を推進する
3. 公共イメージと認知度の向上
 - (1) 地域社会に発信する「ロータリーデー」を各クラブで開催し、ロータリーイメージの向上を図る
 - (2) 地区ホームページ、クラブホームページの活用
 - (3) 「ポリオ撲滅キャンペーン」や「世界を変える行動人キャンペーン」を推進する
4. 青少年への支援と学友連携の強化
5. ロータリー財団と米山奨学会への支援
 - (1) ロータリー財団 1人150ドル以上（年次寄付130ドル・ポリオ20ドル）ベネファクター各クラブ1名以上
 - (2) 米山奨学会 1人25,000円以上（普通寄付5,000円・特別寄付20,000円）

雑誌会報・広報委員会

磯崎久喜雄会長

広報につきましては「沈黙は金・雄弁は銀」という時代は過ぎ去ったということで、積極的なPR活動を行わなければならないと思います。自分を宣伝することは愚の骨頂だという時代から大きな転換が成されております。美德が美德でなくなることになってきている。ロータリーもその波にほぼ完全に押されている、流されている、含まれてきている、その様なことを感じました。広報活動は今まで以上にPRすることによってございます。

米山記念奨学会委員会

藤咲久光副委員長



米山奨学会での協議内容は事前に配布されたアンケートの内容に対する各クラブの報告発表でした。私は協議に入ってから初めてアンケートの存在を知りましたので、残念ながら当クラブとしての報告はできませんでした。各クラブの発表内容は全体的に奨学生に対する不満が多かったです。中でも、日本に敵対的態度をとる中国・韓国の奨学生が多いことです。中国人・韓国人の奨学生は帰国しても日本から奨学金をもらったことを言えない事情があるとのことでした。逆の見方をすれば先の戦争では韓国・中国は日本から被害を一番受けた国であるということです。米山の理念は戦争をなくし、平和を願って作ったもので、この理念に沿っての奨学金制度なら仕方がないという意見もありました。また推薦する大学にとっては奨学生の成績を優先して選ぶので、日本語を学んで留学してくる中国人・韓国人の方が成績が優秀であるので、結果推薦しているとのことでした。

当クラブとしては例年どおり形での米山奨学会への協力でもいいのか協議して決めたいと思っています。



2017-18ガバナー 保延輝文

未来へチャレンジ

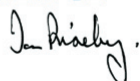





ロータリー：変化をもたらす

ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

2017-18 年度国際ロータリー会長
イアン・ライズリー




「出席はロータリアンの3大義務の1つです」